

グリーンウォーターの作成

(1) はじめに

メダカを卵から孵化させるのは比較的容易であるが、稚魚を成長させるのは難しい。稚魚の主な死因は「餓死」。その対策として稚魚に適した植物性プランクトンが豊富な「グリーンウォーター」で育てることが有効である。昨今の「メダカブーム」を反映し、グリーンウォーターの作成方法はネット上で数多く公開されている。

その中から、比較的手軽と思われる液体肥料を使用した方法を試みた。

(2) グリーンウォーターの作成

① 準備物

ペットボトル (1.8 Lを4本使用)

液体肥料

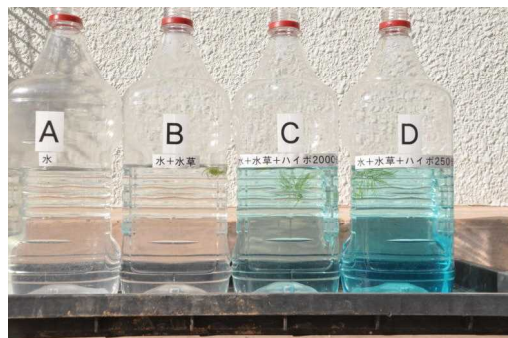
水草 (マツモ少々 葉を各10本程度)

水道水

② 作成の実際

比較検討のために、次の4種類をペットボトルに各1リットル入れ1週間程度、キャップをせず日光の当たるところに放置した。

- | | |
|---|------------------|
| A | 水道水 |
| B | 水道水と水草 |
| C | 液体肥料2000倍希釈溶液と水草 |
| D | 液体肥料250倍希釈溶液と水草 |



< 1日目 >

その間(令和4年6月29日～7月6日)の天候は1日のみ曇り・雨。他の日は日中の気温が30℃を超える「晴れ」であった。

Dの溶液が最も緑色になったが、Cとの差はわずかだった。Aは変化を認めることができず、Bは底に若干緑色のこけがついた程度だった。



< 8日目 >

(3) おわりに

CとDを別容器に同量取り、メダカの稚魚を飼育したところ、Cでは稚魚が生存できたが、Dでは1日も生存できなかった。

このことから、「液体肥料2000倍希釈溶液」がメダカの稚魚飼育のためのグリーンウォーター作成の目安の一つになることが分かった。

また、別途ふたをしない水槽で取り組んだものには、大量のボウフラが発生したことに対して、ペットボトルでは発生が見られなかった。ペットボトルの中にはカの成虫が入れないためだと思われる。

(所属：南会津町立田島小学校 目黒 了)